

5	2017	10	11~ 12	休憩のため徒歩で移動中、機械設備に付属されている、直径36×長さ220mmのボルトに、右太腿外側を接触する。その後、軽度の痛みはあるも通常業務、生活に支障はなかったが、打撲した箇所に激痛と腫れが生じた。	23	3	224	30 ~ 49
6	2017	9	16~ 17	糊を攪拌中の攪拌機に、椅子の合板に利用する糊をとりに行った際に負傷。攪拌機内側の上部にこびりついた糊を取ろうとしたのが、右手を入れ、回転している心棒の糊にアームカバーが付き、右腕が心棒の回転にひっぱられ、腕が変形した模様である。	64	7	162	30 ~ 49
7	2017	9	14~ 15	工務店置場で片付け作業をしていた、トラックの荷台を片付けていて降りる時に勢いよく降りたら右足を挫いた。その日は何ともなかったが2日後、痛くなってきたので病院へ行ったら骨折していた。	19	3	221	—
8	2017	9	4~5	上記日時、いつもの通り、フォークリフトにて工場敷地内の坂の上にある資材置き場から、坂の下にある羽柄材加工場へ羽柄材（建築に使う木材の一種、3000×45×90、180本）を運搬中、坂の途中で両サイドに停車中の車との車間が狭く感じ、ぶつかると思い、停車中の車を避けるために右に急ハンドルを切った折、ブレーキ操作を誤り、フォークリフトごと道路脇の段差より道路外へ転落し、テント製品置き場に衝突、フォークリフトに体をぶつけ、鎖骨を骨折したものである。	47	3	222	50 ~ 99
9	2017	8	9~ 10	スライサー工場（カベブロック検査場）南側出入口において、敷板（6mm×2mm×9mm）を2名で運んでいた。その際、被災者は後ろ向きで、後ろが見えない状態のまま運んでいたため、バランスを崩して出入口横の高さ30cm深さの溝に落ち、左足踵を突っ込んだ。	63	1	418	50 ~ 99
			21~	生産時、工場のドライバー差し口（単板を機械に挿入する所）において、敷き定板をリフターに載せる際、2枚重ねで載せたと				50

10	2017	8	22	きに定板がずれてしまい、不安定な体勢のまま足で押したため、足を負傷した。	51	19	921	～ 99
11	2017	8	16～ 17	ツールボックスミーティング後、差し口リフターのピット内清掃作業を行うため、リフターを上げてピット内に下り、ストッパーをセットした。その後、清掃道具を取りに一度ピット外に上がり、再びピット内に降りる際に立ちくらみがして、約40cmの高さからピット内に転落した。	43	1	418	100 ～ 299
12	2017	8	14～ 15	工場内において、ダボ打ち機を使い、木材（10cm四方）の加工中、同材に左手を添えて木材を押さえるためワークボタンを押したとき、下降してきたクランプと木材の間に誤って左示指を挟んでしまい負傷した。	34	7	139	10 ～ 29
13	2017	8	2～3	夜勤勤務中、原木を薄く切削した単板が堆積する機械で、単板が堆積する下に敷板（1m×2m、重さ約18kg）を敷こうとしたところ、敷板が高さ160cm位高く積まれていた。下に降ろすときに手前に傾けたため、右足の上に敷板が落下した。狭い場所で避けることができなかった。	25	4	522	100 ～ 299
14	2017	8	17～ 18	会社敷地内において枠組壁工法に使用する木材をフォークリフトの爪先にのせ、3m程移動作業中上記材が倒れる可能性があるため手で押さえながら移動を試みたがフォークリフトで台木より10cm程持ち上げて移動して置く時に荷がくずれてしまい、押さえていた足にくずれて怪我をした。	33	5	222	30 ～ 49
15	2017	7	14～15	木工所で木材加工中に誤って指を入れ、左手小指以外の4本を第二関節まで切断された。	62	8	131	10 ～ 29
16	2017	7	16～17	木材の最終検品段階でのナンバリング作業中、少し遠くにある木材に貼られているシールのナンバリングが届きにくかったので、木材が自動的に昇降するリフターの横のレールに右足をか	50	7	169	100 ～

				けていたため、自動的に降りてきたリフターとレールの間に右足を挟まれ負傷した。				299
17	2017	7	16~17	13SCドライバーのロール交換をし、二人でロールを移動しようとした。選別台から階段を下りて下に運ぶ際、狭いためロールを仮置きして階段の上下に分かれようとした。その際、ロールを仮置きした場所が不安定だったためロールが転がり落ち階段下に降りようとした被災者の右手中指に当たり、骨折した。	26	6	521	100 ~ 299
18	2017	7	15~16	当社作業場にて、資材をユニックを使用して積み込み作業をしていた際、位置を合わせるために後退した時、配置してあった敷角につまずき荷台から転落し、全身を強打した。	77	1	221	10 ~ 29
19	2017	7	19~20	納品作業をしているときに、入り口フェンスの鍵を開けようとしたが、暗くて見えないため、鍵を開けることが出来なかったため、腰高のフェンスを飛び越え敷地内の進入しようとしたが、着地に失敗し左足首負傷した。	20	3	419	50 ~ 99
20	2017	6	17~18	駐車場内にて歩行中、後からバック走行の車に当てられ負傷した。	65	7	231	30 ~ 49
21	2017	6	11~12	ベニアレース（原木を大根のカツラ剥きの様に薄く切削する機械）のナイフ（刃渡り約220cm、重さ約60kg）を交換する為、移動台車にナイフを載せて反転させた時に、台車の溝に上手く入らず、治具を使用して直す際に足を滑らせ、左手がナイフカバーに接触し、カバーが外れて刃先に左腕（手首下）が当たり切れた。	38	8	139	100 ~ 299
22	2017	6	6~7	本人が夜勤明け退勤の為、職場より事務所棟へ向かおうとした際、同職場で日勤担当の外国人実習生が、職場から置き屋根倉庫へフォークリフトで製品を運搬するタイミングで、禁止されている二人乗りをした。外国人実習生が運転するフォークリフトが置き屋根倉庫前で一旦停止し、本人が降車したところ、急	24	7	222	50 ~ 99

				発進したフォークリフトの後輪に右足が巻き込まれる形で轢かれた。				
23	2017	5	1~2	ウェルダのシュレッターに向かうコンベアに単板が引っ掛かっていた。本来は棒などで押さえて流しているが、被災時は単板が大量に詰まっていたため、足で押さえて流そうとした。その際コンベア機の鉄板に一度右板をのせようとしたら足が滑り、バランスを崩して左太ももが鉄板に当たって切った。	18	8	224	100 ~ 299
24	2017	5	14~ 15	資材置き場の倉庫にて、既設資材の取り出しをしている際、長さの異なる栈木（さんぎ）が積み上げられている中から一番上に積まれている栈木をフォークリフトで取ろうとしたがフォークリフトのツメが届かなかったため、栈木の山に登って（地面から1.5m程度）手作業でフォークリフトのツメに栈木を載せようとしたところ、栈木の山が崩れそうになったので慌てて栈木を押えた。その際にバランスを崩してしまい、左脇から地面に落下した。事故の原因は、本来であれば栈木をフォークリフトで組み替えて取り出せばよいところ、作業を省略しようと栈木の山に登ってしまったことにある。	45	1	222	1~ 9
25	2017	4	18~ 19	工場構内に於いてチップ室の掃除中、剥芯チップの入口を横になった剥芯が塞いで挿入口コンベアに剥芯が溜まっていることに気付いたので挿入コンベアを停止してチップの入口を塞いでいる剥芯を手で取り除こうとしたが、掴んだ剥芯が回転したままだったチップ室に触れたため弾かれて右手をガイドに強く打ち付け被災した。	41	6	139	100 ~ 299
26	2017	4	1~2	合板工場加工機にて、品種切替のため自動供給装置始業調整をしていた。該当する箇所的位置付近に脚立を利用し、高所で作業をしていたところ、脚立がグラつき不安定になったため、咄嗟に右手を機械設備にかけた際、自動供給装置と駆動シリンダ一部分に挟まれ、薬指先端を挫傷する。	57	7	169	50 ~ 99

27	2017	3	14~15	単板置場で単板の検品作業中、60cm程の高さに積まれた単板をリングの上に置こうとした時、手が滑って足の上に落とした。安全靴を履いていなかった為、足の甲を骨折した。	67	4	522	10 ~ 29
28	2017	3	18~19	営業先の駐車場で建物に向かって歩いている途中、道の上で足が滑り転倒した。	53	2	719	50 ~ 99
29	2017	2	21~22	破損した設備の補修溶接作業を行っていた。「熱い」と感じたので、足元を確認したところ、溶接の火花が作業服（ズボン）に引火しており、急いでズボンを脱いだが火傷していた。	29	11	332	100 ~ 299
30	2017	2	8~9	工場内で木材をカットする機械を使って木材をカットする作業をしている時に、丸のこ機械が動作している際中であつたが、カットしなければならない木材が上手く機械にセットされなかった為、左手で端部を押さえた際に機械に指先が挟まれそのまま回転する丸のこに左手中指、薬指、小指を切断されてしまった。	54	8	131	10 ~ 29
31	2017	2	7~8	夕刊配達中に、バイクで交差点で右折待ち停車中、相手方の軽自動車を追突してきた。その衝撃で転倒し受傷した。	54	14	522	100 ~ 299
32	2017	1	8~9	ドライバーアンローダーから方転コンベアに向かうところにあるロールの交換作業をしていた。ロール両端のボルトをはずして交換しようとした際、ロールが転がり落ちて、左手の薬指を挟んだ。	30	7	139	100 ~ 299
33	2017	1	8~9	集成材工場内、仕上げモルダーにて、刃物回転軸の駆動ベルトの張り調整をする際、完全に回転が停止する前に、回転が停止したと思い込み、回転している駆動ベルトを触ってしまい、ベルトに巻き込まれてしまった。その際、リーダーが「まだ回転しているから触わるな」と伝えたが、この様な事故が起きてしまった。	32	7	121	30 ~ 49

34	2016	12	9～ 10	段取り中、着色機第一ロール送りロールに着色液が付いたの で、それを拭き取ろうとしてウエスを右手に持ち、拭きに行っ たところ、右手を送りロールと塗布ロールの間に巻き込まれ た。	32	7	163	100 ～ 299
35	2016	12	16～ 17	工場内丸棒加工所において、角材を丸く加工するため電子ルー ターで面取り作業中、不注意から、つけていた軍手が電気ルー ターの刃に接触し、軍手ごと巻き込まれてしまい、左手中指、 環指、小指を負傷した。	74	7	135	1～ 9
36	2016	12	16～ 17	センター集成材工場で使用している仕上げ切削のモニターに不 具合があったため、3G分解修理にかかり、当日分の切削作業が 終了していなかったため急いで機械を作動させようと走ったと ころ、製品を送るローラーの脚部分を固定している金属板の角 に右足をぶつけ打撲した。	22	3	139	30 ～ 49
37	2016	12	0～1	仕上げ合板用梱包機でバンド掛けトラブルが発生し、再梱包の 為にバンドを切る際、左手人差し指でバンドを浮かせた上の部 分に刃を入れ、手前にカッターを引き、誤って左手人差し指第2 関節上面をカッターナイフで切ってしまった。	36	8	364	100 ～ 299
38	2016	12	17～ 18	作業の合間の整備中に、上部のゴムロールに仕掛品から付着し た油を発見。ゴム手袋でウエスをもち、拭き取ろうとしたとこ ろ、右手の指の付け根あたりまで回転に巻き込まれ、挟まれ た。	33	7	224	50 ～ 99
39	2016	12	21～ 22	従業員は、スカーフジョインターによる調板作業に従事してい た。作業により発生したゴミが溜まっていたことに気づき、 「搬送装置」の停止スイッチを押して機械に上り、コンプレッ サーでゴミの除去作業に取りかかったが、機械全体を停止させ なかった為に、ゴミが取り除かれたことに伴い今まで停止して いたカット機のセンサーが感知し、カット材搬送フォークが動 き出した。このとき、左足を搬送装置土台部にのせていた為、	37	6	139	50 ～ 99

				フォーク先端部にぶつかり負傷。				
40	2016	12	14～ 15	作業場東側の裏口出入口にて、作業で出たゴミを裏口付近のゴミ置き場に捨てに行く時、裏口付近の出入口の足元が前日の気温の低さで路面が凍っていた。当日は雨が降って滑りやすい状況になっていたところに、ゴミを持ったまま確認出来ずに転倒し、左足首にヒビがはいてしまった。	60	2	719	30 ～ 49
41	2016	11	16～ 17	木枠組立作業で製品を2人1組で表裏に返す工程で棒材部分を握った時、誤って滑った右手が上部の棒材と接触し、親指付け根付近にささくれが刺さった。	24	8	522	100 ～ 299
42	2016	11	14～ 15	社内出入り口の階段において段を下りようとしたところ、左足をひねったためバランスを崩し転倒してしまい、股関節骨折の負傷をした。	54	2	413	30 ～ 49
43	2016	11	6～7	ドライヤー職場にて、ヤニ取り装置よりヤニを含んだ温水をバケツに移す作業をした時、ヤニ取り装置の上下のバルブの確認を行わず、下のバルブは閉じていると思い、上のバルブを開けた。その後ヤニ取り装置の2階部分に移動した時、異変に気付き戻った時には温水がバケツから溢れて、トレイに溜まっていた。急いで上バルブを閉めようと、安全靴のままトレイの中に両足を入れ、上バルブを閉めた際に負傷した。	40	11	391	100 ～ 299
44	2016	11	14～ 15	材料を1枚ずつ送る為の仕切り板は機械を停止してから高さ調整するよう指導されていたが、停止せずに行った。調整中に工具をベルトの上に落としてしまい、拾おうとしてベルトと仕切り板の隙間に指が挟まった。	27	7	224	10 ～ 29
45	2016	10	15～ 16	合板製造の工場内の貼り場において、コンベアから搬入された原板の積み山を貼り場のリフトに搬入しようとしたところ、定位置まで搬入されなかったため、積み山の進路上に立って手で押していた時、自動運転中のコンベアから搬入された次の積み山が本来の停止位置よりも進んで停止したため、積み山に背中	56	7	224	50 ～ 99

				を押されて積み山とリフトの角に右足を挟まれ被災した。				
46	2016	10	16～ 17	フィンガー機の刃物交換をする際、ナットをゆるめる為に軸を押さえスパナをかけた時に、スパナが折れて破片が飛び、右手手首下にささった。	32	4	139	10 ～ 29
47	2016	10	8～9	工場モルダの機械で作業していた時、ひき粉を取ろうとして、誤って機械を止めずに手を近づけ、刃で右手人差し指の先を切った。	39	8	133	100 ～ 299
48	2016	10	15～ 16	工場内で作業中、押切機で木材をカット中に誤って材料を押さえていた左手親指の先端を負傷した。	62	8	131	10 ～ 29
49	2016	10	13～ 14	ロータリーレースのナイフを交換する為、移動台車にナイフを乗せた時、不安定だったので両手で直そうとしたところ、ナイフカバーが外れナイフの刃が左手首に当たり負傷した。	68	8	139	100 ～ 299
50	2016	10	9～ 10	工場内の通路において、ごみを捨てて作業場所に戻ろうとした被災者が、製品を仮置きして後退しようとしたフォークリフトの後ろを急いで横切ろうとしたものの、近づいてきたフォークリフトを避け切れず、尻もちをついたところに気づかずフォークリフトが後退し、左後輪が被災者の左脛を圧迫するように接触した。	55	6	222	30 ～ 49
51	2016	9	9～ 10	ボイラー逆走ファンにグリスを差したところ、側面にグリスが垂れてきたので拭いていた。その際、拭いていたところの上の方に駆動軸が回転しており、拭いていた手の中指先端が当たってしまった。	21	7	139	100 ～ 299
52	2016	9	2～3	用足しに便所に入ったところ、中にマムシがいて飛び掛られ受傷。	42	90	719	50 ～ 99
			15～	事業場2Fから次の作業に取りかかるため1Fへ階段で下りる際				30

53	2016	9	16	に、一番下の段差で右足先の外側を捻って転倒した。	52	2	413	～ 49
54	2016	9	9～ 10	工場内西側の材料置場で不用になったパイプの撤去をするため、リフトでプラスチックのパレットを上げて、その上に乗って、パイプを切断・パイプレンチで外して降ろす作業をしていた際、パイプを外したときにバランスを崩して、作業をしていたパレットの上から地面に落下し負傷した。	66	1	222	10 ～ 29
55	2016	9	5～6	有機溶剤廃液処理場内にて、廃液処理作業の中の溶剤残渣回収作業にて、回収装置の回収袋を取り出し、袋の口を結ぶ作業中、中毒症状になり、手足に力が入らなくなり、自力で外へ出たところ倒れた。	51	12	514	300 ～ 499
56	2016	9	14～ 15	ホットプレスにて接着を完了した部材を取り出す作業をしていた。その部材を移動させようとした際、荷崩れが発生しそうになったので、離れた場所にいたが部材を抑えようと駆け寄り、レール台車の横より体を伸ばしたところ、レール台車のコロコン端部を右膝に当て負傷した。	45	3	139	10 ～ 29
57	2016	9	12～ 13	製品を出そうと思い、階段2、3段下りた際に気を失って、2段下の土間へ前頭部から落下し負傷した。	57	1	413	100 ～ 299
58	2016	8	7～8	芯出し作業時に単板屑を除去する際、機械を停止せず安全ロープスイッチの上から体を乗り出して処理しようとしたため、ピンチロールとピンチロールの隙間に右手を巻き込まれた。	48	7	139	30 ～ 49
59	2016	8	11～ 12	工場プレス作業場へ移動中、ドアの前ですべりかけて誤って右足がドアのガラスに当り、ガラスが割れて切り傷となった。	32	8	529	100 ～ 299
60	2016	8	11～ 12	加工機からワークを取り出し台車に積載する作業において本来は台車に水平に積載するところ、台車端部に過剰に重ねた為、台車が傾きワークが落下。左足首に当たって被災した。	59	4	362	50 ～ 99

61	2016	8	5~6	宿直室で工場内巡回及びボイラーの焚き付けに行く準備中、布団に躓いて転倒した。	79	2	417	50 ~ 99
62	2016	8	18~ 19	梁材の真ん中程を持ってかたづけようとしたところ、他の材に当たり手が滑って左足の甲に落とし、負傷した。	39	4	522	50 ~ 99
63	2016	7	21~ 22	工場で、材料の投入作業をしている時に、機械のモーターからギアとチェーンが外れかけた。本来なら機械を止めて復旧作業をするところを怠り、そのまま作業をした為、ギアとチェーンの間に、左手薬指を挟まれた。	55	7	121	100 ~ 299
64	2016	7	13~ 14	工場内、立軸盤の機械にて、厚さ12ミリ×300ミリ×510ミリの前下のフラットの合板を切っている際に、よそ見をしてしまい、右手を体より50センチ位離れているのにもかかわらずノコにふれ、親指以外の4本の指がノコに当たり、負傷した。	58	8	139	1~ 9
65	2016	7	13~ 14	モルダー工程において生産中、機械トラブルが発生し、その場所に向かう途中、通路上にあった台木に左足が躓き転倒。その際、前方にあったガイドレールに右胸上部を強打し、負傷した。	36	2	417	30 ~ 49
66	2016	7	10~ 11	プレスで材料を機械に流す作業中、ライブローラーのチェーンがスプロケットから外れそうになっていたため修理をしようとした。急いでいたため、自己判断で機械の両側にある停止センサーの前に板を置き、一時停止状態のまま機械の電源を切らずに修理にとりかかってしまった。この時、片側のセンサーにしか板を置いておらず、修理作業中に板が落下して機械が運転を再開し、左手の指を回転したスプロケットとチェーンの間に挟めて切傷・骨折した。	24	7	224	30 ~ 49
				横切盤ノコを使用してコンパネを切断完了後、盤の左側にある				

75	2016	3	11～ 12	合板製造設備機械の異常に気付いた被災者が、設備機械の木材製品を流すレールの上に乗って挟まり積み上がった木材を手で取り除くことはできたが、その反動で反対方向へよろめき転倒しそうになったため本人の判断で、一番安全と思われる部分に飛び降りて両足で着地した時に腰にしびれを感じた。	53	1	139	100 ～ 299
76	2016	3	13～ 14	工場部材製品置き場にて、不要になった材料の梱包に使用されていた敷板を片づけるために、少し切り込みを入れた敷板を台車の端に掛け、足で半分程度に折ろうとした。この時、敷板上で足を滑らせ、左の台車側に転倒し、脇腹を台車上バン木にぶつけた。	58	2	362	300 ～ 499
77	2016	3	21～ 22	コンベアで、剥芯がななめになってしまったのを直そうと下に降りた際鉄板がライブローラーの間に落下していたのに気づき、ライブローラーを止めずに直そうとして、鉄板とライブローラーの間に左手指が挟まれて負傷する。	47	7	224	100 ～ 299
78	2016	2	16～ 17	工場で柱のプレナーかけの作業をしている時、搬送機のところで柱がつまって動かなくなった為、機械を止めること無く、直そうとしたところ、製品と下のローラーの間に手が巻き込まれた。	35	7	139	50 ～ 99
79	2016	2	21～ 22	仕事を終えて徒歩で従業員用駐車場に止めてあった自分の車に向かった。駐車場に入ったところのわだちにつまずいて転倒。	49	2	711	50 ～ 99
80	2016	2	12～ 13	昼休み中、工場出入口の防火扉を開けて場内へ入る際扉が風に煽られ急に閉まり、指を挟んだ。	56	7	419	300 ～ 499
81	2016	2	9～ 10	サクシオン荷出しロールコンベアで被災者はチェーン切れを修理する為手動運転にし、カバーを外し、チェーンをつないでいた。チェーンをつなぎ終えた後、第3者が荷出しをしようと被災者に合図を送って自動運転に切り替えたが被災者には伝わって	30	7	121	100 ～

				おらず、モーターが駆動し、チェーンとスプロケットの間に指を巻き込まれた。				299
82	2016	2	8～9	工場内で内装パネルをカット仕上作業中に、パネル材を1号機から2号機へ移動させる時、キャタピラとローラーの間に左手を挟まれて負傷。	34	7	224	10 ～ 29
83	2016	1	14～ 15	仕上モルダーで刃物の手前のローラーねじを取り替えるときに、刃物に当たり、右手の中指と薬指を切った。	44	8	133	10 ～ 29
84	2016	1	16～ 17	工場において、プレス機からパネルを出し、台車に積むときにガイドにつまずき転倒し、負傷した。	52	2	418	10 ～ 29
85	2016	1	9～ 10	工場内でグリット品塗装中に、手で機材運搬をしていて、手を低くし持った際、腰を痛めてしまった。	28	19	611	50 ～ 99
86	2016	1	16～ 17	作業終了後、耳取機の電源をOFFにした後、ルーターが止まっていると思っていたが、一部完全に止まっていなく、エアで掃除をしている時にルーターに触れて、右手親指、薬指を損傷した。	62	8	135	10 ～ 29
87	2015	12	8～9	事業所内作業場にて、塗料の入っていた空の一斗缶を片付ける作業中、一斗缶をつぶして廃棄するため機械で潰していたところ、機械の上でうっかり手を置いた為、左右に作動する鉄板が戻ってきた際に機械との隙間に左薬指が挟まり、負傷した。	39	7	169	10 ～ 29
88	2015	12	16～ 17	工場の大掃除を終えて、不用になったコンプレッサーを片付ける事になり、二人で引手と押手に別れて運んだ。坂を上らないといけな箇所があったので、勢いよく上るため二人して力をこめたところ、引手が足をつまらせ、コンプレッサーの車輪が右足の甲にのってしまった。	36	7	612	50 ～ 99

89	2015	12	8～9	トラックからバンドルをフォークリフトで降ろす作業を2人でしていた。フォーク上にあるバンドルのバランスが悪かったので1度バンドルを降ろすこととし、枕木（高さ36mm）の位置を調整していた。すると、フォークリフト操作者が調整が終了していると思い、バンドルを降ろしてしまったため、バンドルの下に右足の甲を挟まれ、剥離骨折をした。	62	7	222	50 ～ 99
90	2015	12	2～3	作業中トラブルが起き、プーリーの下のノリカスが原因だと自分で判断し、ベルトを外しノリカスを除去しようとしたが、反定規側にある停止スイッチをすでに押したと思い込んでいた為、ベルトを外そうとした瞬間、ギアポンプが回り出し、左手薬指を巻きこまれ負傷した。	36	7	121	100 ～ 299
91	2015	11	19～ 20	合板製造の工場内において合板用単板の接着作業中に単板に接着剤（糊）を塗付する機械（スプレッター）の糊タンクの網を掃除している時に足元が滑って転倒した。	39	2	416	50 ～ 99
92	2015	11	9～ 10	工場内でのラミナー運搬作業中に急ブレーキを踏んでしまった為、はずみで前の材木がくずれ、傾いたリフトが元の戻った反動で背中を強く打った為骨折した。	66	19	222	30 ～ 49
93	2015	11	13～ 14	工場でリップリーを使って木材を製材（カット）中、木材が硬かったのと割れがあった事で機械の1コ刃に負担がかかり、木材が途中で戻され、割れの為折れた木が手の甲にあたり、一部が突きささり負傷した。	50	8	131	1～ 9
94	2015	10	22～ 23	工場塗装場にて仕事が終了しナチュラルコーター洗浄中にローラーの回転が反転する事を忘れていた為、ふき取り用ウエスがローラーに巻き込まれ、とっさに取ろうとして手が巻き込まれた。	30	7	169	50 ～ 99
95	2015	10	9～ 10	フィンガージョイント作業をしていると時に、ラミナーを巻いてあるバンドが下にちらばっていた為、その上を踏んですべり転倒して打った。	55	2	529	100 ～ 299

96	2015	10	16～ 17	工場内にて、ダイライト板を二人で持ち上げてプレス盤に入れる作業をしている時に、ベニヤの山が積んであったため、中腰から前かがみで作業し、腰にねじれが生じる状態で普段より多くの作業を繰り返していた。作業の後半で前かがみになったとき疲労から体勢が崩れ、腰に負傷を負った。	36	19	529	10 ～ 29
97	2015	8	11～ 12	作業にとりかかろうと電気カンナにスイッチを入れた所、作動しないため点検していた所、急に作動し、カンナの刃で左手人差し指中指を切傷した。	61	8	133	1～ 9
98	2015	8	13～ 14	簡易休憩所の設置作業中、プレハブを鉄骨の骨組みの上に乗せるため、鉄骨の枠組みの上に登ったところ不意に足を滑らせてしまい、体の右側から地面に転落した。	51	1	418	1～ 9
99	2015	8	14～ 15	製品倉庫内のギャングソーにおいて小割カットしていたボードが反っていたため、カット最中に止まってしまった。ボードを手で押し込もうとしたが動かなかったため、ボード投入担当者が板厚調整を行なうため調整スイッチ側に移動し、被災者が取り出し積み取り側から、投入側へ移動した。板厚調整を行いながらボードを手で押し込もうとした際、カット途中のボードが撥ね返り、被災者の腹部に当たった。	52	6	522	50 ～ 99
100	2015	7	20～ 21	塗装ラインにて運搬下の潜り抜け防止のためのカバーの設置作業中に、ドリルを使用して穴を開けようとしたところ、ドリルの刃が折れて目に当たり、被災した。	33	6	169	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。